

しゃべって残そに! 明和^{ほうげん}の方言

方言とは、テレビなどで流れる標準語とは違い、それぞれの地方で使われていることばです。

明和町の方言は、大きくは三重県の伊勢平野部(旧伊勢国)で話され「伊勢弁」と呼ばれる関西弁の一部に属します。

明和の方言の特徴は、松阪市と伊勢市という都市部の間に位置し、両方の生活圏と行き来があることから、松阪に由来する方言と伊勢に由来する方言とが混ざっている点があります。また、江戸時代に紀州藩や伊勢神宮領などさまざまな藩の支配を受けていたため、さまざまな地域の言葉が入り組んでいたことも特徴です。

方言に接する機会が少なくなり、だんだんと方言が使われなくなってきたかもしれませんが、明和町の大事な文化として皆さんもしゃべって残していくください。

松阪よりの方言の例

「さんす」「さしゃんす」などの遊女言葉に由来。

例: 何さんすん? 行かんす

伊勢よりの方言の例

「いじ」 頭のつむじ部分のこと。

その他にも…

生き物: かんびんたん、くちなわ、どんど花、あまめ、ごとひき、げりご

食べ物: 米をかす、なんば、とごる、おじや

動 作: ござる、ちよける、ごうわく、ぬくとまる、おしまいなして、あめる

古代からの言葉: かいだるい、だんない、ずつない、よざり

聞いたことがある、意味がわかるものはあるかな?

正解は動画で確認してみましょう!



キーワード: 方言、伊勢弁